

幡多の太陽

令和3年2月9日 第21号

ブックトーク 読んでみたくなる本の紹介の仕方



1月28日、本校において土佐清水市市立図書館と土佐清水市学校図書館協議会の共済事業として、5・6年生に協力してもらい、高知こども図書館理事 村井由紀子先生に「本の楽しさを知らせるブックトーク」と題して国語の授業をしていただきました。ブックトークとは、本の紹介なのですが、ただ単に「こんな本がありますよ」ではなく、テーマを決め、数冊の本を順序だてて紹介し、自分から本を手にとって、「読んでみたい」という気持ちを引き出す本の紹介の仕方のことを言います。その紹介の仕方は何も語らずただ表紙や挿絵を見せるだけの紹介であったり、途中まで紹介し、あとどうなるかを想像させるような紹介をしたり、直接本は紹介せずに今、社会で起きていることを取り上げ、興味・関心を膨らませておいて「この本を読むだけでよく分かります」という紹介をしたりして、子どもたちの「続きを知りたい」「どんなことがかかっているんだろう」と、読んでみたいという気持ちを引き出すような、そんな本の紹介をしていただきました。

紹介していただいた本は教室に置いて行ってくれています。子どもたちも興味をもって、読んでいます。

読書祭りの開催

ご苦労様、図書委員会の皆さん



2月8日、秋の…ではなく、暦上は春の読書祭りになりますが図書委員会の4人(蘭次郎君、南君、優希菜さん、光希君)が中心となり、開催することができました。ボランティア人形劇団「こぐま座」の皆様に来ていただき、「きつねとたぬきのばけくらべ」というお話の人形劇を見させていただきました。とても楽しいお話で子どもたちもみんなが聞き入っていました。その後、図書委員会のクイズ、そして読み聞かせがありました。準備もバッチリできており、図書委員会のみんなが協力してやったんだというのがよく伝わってきました。楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとう。

